

9 月 度 例 会 個人 山 行 報 告 書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内幹雄、油井武 浜島弘一、佐溝直彦 不破孝浩、浅田由徳
		報告日	10/03		
山 域	富士川流域	山行日	2017 年 09 月 29 日 (金) ~		
山 名	白鳥山		**年 **月**日 (*)		
山行目的	親睦	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図 :

9/29 晴れ
6:15 自宅発
9:55 本成寺 P
10:10 登山口
10:50 七面宮跡
11:55 白鳥山(568m)
12:35 下山開始
13:15 七面宮跡
13:40 本成寺 P

森林公園 (出発)
10 分後に
白鳥山山頂 (到着)



富士山は雲に隠れる



三角点と頂上碑



頂上広場で休憩

〈山行報告〉本成寺の駐車場に車を置かしてもらい、お寺にお参りしてから出発する。メンバーは油井、不破、浅田、竹内の 4 名。佐溝、浜島の 2 名は森林公園まで車で移動して、そこから頂上まで登る短縮コースだ。4 名は本成寺脇の「白鳥山」登山道案内板横を進み、その先で民家の庭先を通り抜ける。「柿の木」が登山道にはみ出して柿は色付き始めている。竹林の道を進み、やがて杉、ヒノキの植林帯となる。枝打ちされたヒノキを見ながら U 字状に掘れた登山道を進む。途中大きな栗の実が落ちていを見つけると珍しいので拾う。やがて右側に苔むした急な石段が現れる。石段は登らずに登山道を巻いて行くと、小さな「お社」のある「七面宮跡」広場に到着。下で見た石段の最上段と合流している。ここで休憩する。富士見台と呼ばれる展望台からは雲に隠れて富士山は見えない。この先も樹林帯の中を進むと 1 時間程で「白鳥山」山頂に到着した。登山道脇に頂上の標識が立っていて横に三等三角点がひっそりと頭を出している。この先に大きな広場があり、そこへ移動する。先に到着した佐溝さんグループは森林公園の駐車場から 10 分で山頂に到着したそうだ。我々の到着を待っていた。方位盤が設置してあり、明日登る長者ヶ岳を確認するが雲に隠れていて見えない。合流後、差し入れのカップラーメンにお湯を注いで食べる。山の上で食べるラーメンは美味しい。行動食も食べてお腹一杯だ。下山は油井、浅田、竹内の 3 名で登ってきた道をそのまま下る。途中「七面宮跡」で休憩して一気に下る。佐溝さんグループが「本成寺」駐車場で待っていた。登山靴を履き替えていたら浅田さんが「蛭」に血を吸われていた。油井さんも吸われた。竹内は吸われてないが靴底の裏に蛭がいて「びっくりだ」。この後、白糸の滝を観光して宿泊先の休暇村「富士」に向かった。



〈リーダー所見〉 天气に恵まれたが、富士山は雲が掛かって、くっきりと見えなかった。体力に合わせて短縮コースでも山頂に立てるのが「良いね。」と思いました。この山に蛭がいるのは予想外でした。スパッツを付けていれば「被害も最小限に抑えられたかも？」と思いました。情報が無いとスパッツの装着を忘れそうです。



確認
(リーダー)
竹
17/10/03
内
作成
(報告者)
竹
17/10/03
内